

製品・サービス動向-国内

■メディアプラス：ビデオ会議の接続・運用管理オリジナルソフトウェア「VMR オペレータ Pro」販売開始 (4月11日)
株式会社メディアプラス (<http://www.mediaplus.co.jp/>) (東京都千代田区)は、ビデオ会議向け運用管理ソフトウェア「VMR オペレータ Pro」の販売を開始する。

VMR オペレータ Pro は、メディアプラスがビデオ会議の専門会社として長年培ってきたノウハウを生かし、企業の情報システム部門やビデオ会議専任のオペレータがいなくても、高度なビデオ会議システムを誰もが手軽に利用できるよう設計された同社開発の運用ソフトウェア。年間サブスクリプション契約により手軽に購入し柔軟に拡張することができる。



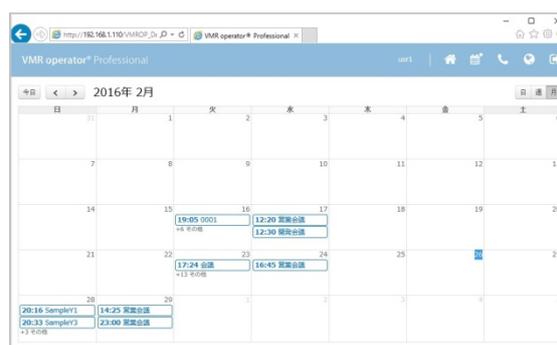
ログイン画面 (メディアプラス)



ビデオ会議予約画面 (メディアプラス)



接続拠点選択画面 (メディアプラス)



予約会議一覧画面 (メディアプラス)

同社によると、ビデオ会議が必須の時代となった今、企業に求められる高度なビデオ会議運用は情報システム部門の負担となり、ビデオ会議専任のオペレータを置く企業もあるという。

VMR オペレータ Pro は、そのような管理専任者を置くことなく、ユーザが手軽に Web ブラウザから「会議予約」を行うだけで仮想会議室の作成、パスワード発行、周知連絡、予定変更などを行うことができる。また、予定された会議時間になると自動的にテレビ会議接続が行われるため、会議開始が遅れることもない。

VMR オペレータには、Pro 版のほか、無償の Lite 版もある。いずれの製品も、Pexip (ペクシップ) 社の多地点接続ソフトウェア「Pexip Infinity」と一緒に使用

し、無限に仮想会議室のリソースを拡張していくことが可能という。

メディアプラスは 2002 年に設立。ビデオ会議システム・AV システムの販売、保守および関連ソフトウェアの開発や販売を行っている。同社が提供している「Codian/Cisco MCU」用の運用管理ソフトウェア「MCU オペレータ」はおよそ 10 年にわたり製造業、電力、サービス業に多数の導入実績がある。

■ロジクール：大人数のグループ会議に最適な、法人向け 1080p/30fps 対応カンファレンスカメラ「ロジクール GROUP CC3500e」を発売

(4月14日)

株式会社ロジクール (<http://www.logicool.co.jp/>) (東京都港区) は、大人数のグループ会議に適した、1080p30fps 対応カンファレンスカメラ「ロジクール GROUP CC3500e」を法人向け製品として 4月14日より正規販売代理店にて販売開始する。オープンプライス。

新製品のポイントは、高画質ビデオ、アップグレードしたマイク性能、Bluetooth および NFC に対応、の 3点ある。

高画質ビデオを実現しているカメラヘッドにはカールツァイス社製光学レンズと 300 万画素の画像センサー、10 倍デジタルズーム、オートフォーカス機能を搭載している。90 度の広画角レンズを内蔵モータで上下左右に回転させることができるメカニカルパン&チルト機能で、水平方向 260 度、垂直方向 130 度までの超広視野角での撮影が可能となっている。また、内蔵の H264 エンコーダーにより、最大 1080p/30fps でのテレビ会議も可能だ。

マイクについては、広帯域でクリアな音声通話を実現するデジタル信号処理 DSP を搭載。周囲最大 6m の音を集音する 4 つの無指向性マイクのほか、周囲の雑音を排除するエコー&ノイズキャンセリング機能や、

新技術となるビームフォーミングテクノロジーを搭載。

特徴としては、内蔵マイクそれぞれに搭載された計 4 つの音声ピックアップビームが発声者の位置を特定し、発声者以外の音声を 3dB 下げること、より高品質な音声通話を実現させた。加えて、更に大人数となる会議の際は、拡張マイク (別売) を使用することで、周囲最大 8.5m まで音の集音範囲を広げることが可能となっている。

Bluetooth 接続、プラグアンドプレイの USB 接続、対応端末をかざすだけで簡単にペアリングできる NFC にも対応した。「Microsoft Lync」、「Skype」、「Skype for Business」、「Microsoft Lync」、「Cisco Jabber」、「WebEx」、「Windows Live メッセンジャー」、「FaceTime for Mac」などのビデオ通話ソフトウェアで簡単に使用できる。

CC3500e は、さまざまなビデオ会議ソフトウェアに対応する柔軟性を備えており、オフィスのあらゆる場所をビデオ会議による協業の場に変えることで、職場におけるワークスタイルの変革の実現に貢献するとしている。

ビジネス動向-国内

■ブイキューブロボティクス・ジャパン：新経営体制を発表

(4月1日)

株式会社ブイキューブロボティクス・ジャパン (<http://www.vc-robotics.com/>) (東京都目黒区) は、4月1日より出村太晋 (でむら たいしん) 氏が代表取締役社長に就任したと発表。

ブイキューブロボティクス・ジャパンは、2015 年 10 月に株式会社ブイキューブ (東京都目黒区) のロボティクス分野における戦略子会社として設立された。「人同士のコミュニケーションにとどまらず、人とモノ、人とマシーンなど、新たなビジュアルコミュニケーションの実現」をビジョンに掲げており、ドローンを中心としたロボットが目、耳となり、その情報を離れ

た場所に転送し、これによるコミュニケーションの可能性をさらに高めることを目的とした事業展開をしている。

出村氏は、1971年生まれ、慶応義塾大学法学部政治学科卒。総合電機メーカーに入社。戦略系コンサルティング会社を経て、株式会社リクルートにて中途採用事業の戦略立案や新規事業立ち上げを担当。その後、グリー株式会社にて管理会計導入、全社経営の管理、新規事業領域の管理、ヘルスケア領域の新規事業立ち上げ推進を担当した。

氏名	新役職名	旧役職名
出村 太吾 (でむら たいしん)	代表取締役社長	
高見 耕平 (たかみ こうへい)	代表取締役副社長	取締役
船津 宏樹 (ふなつ ひろき)	取締役	取締役
間下 直晃 (ました なおあき)	取締役	代表取締役社長

4月1日以降の新経営体制

(ブイキューブロボティクス・ジャパン)

同社としてはドローンを中心としたロボティクス市場が急速に発展する中、新経営体制のもと全社一丸となって、顧客、パートナー、社会との連携を進めていくとしている。

■システム・テクノロジー・アイ:「iStudy LMS アカデミックエディション」をパイオニア VCの「xSync」と連携させ、文教市場へ参入

(3月30日)

株式会社システム・テクノロジー・アイ (<http://www.istudy.ne.jp/>) (東京都品川区) は、パイオニア VC (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都目黒区) が提供する電子黒板/協同学習ソフトウェア「xSync(バイシンク)」とシステム・テクノロジー・アイの文教向け学習管理システム「iStudy LMS アカデミックエディション」を連携させ、新たに文教市

場に対して学習管理システムを提供する。

これら2つのシステムを連携させることで、授業で利用した学習データなどを学校外からアクセスできる個別学習環境を整え、教育現場においてトータルソリューションパッケージを提供していく計画。

iStudy LMS アカデミックエディションは、小中学校向けに「iStudy Enterprise Server」を改良した学習管理システム。小中学校の授業で利用したデータを家庭など学校外からアクセスし、個別学習ができるようになっている。

一方、xSync は、コラボレーションを支援するためのプラットフォームの総称。教室にある電子黒板や学習用端末などを連携し、画像転送を短時間で繰り返し行うことで、自分のアイデアとたくさんの仲間の意見を協働し、新たなオリジナルな発想を創り出すという「シンクロする学び」を提供する。今後は、電子黒板での日本国内の高いシェアを背景に、全世界の普通教室の ICT 化を支援していく。

両社が文教市場への強化を行う理由として、文部科学省の推進する「教育の情報化」がある。電子黒板などを使った情報教育を進める「スクール・ニューディール」(2009年)や、2017年度までに全教室に電子黒板を導入する目標が掲げられた第2期教育振興基本計画(2013年6月)といった政策を通して、平成26年度から29年度において単年1,678億円(4年間総額6,712億円)の予算措置が行われている。

なお、システム・テクノロジー・アイは、4月1日よりアイスタディ株式会社へ社名変更を行うとともに本社を東京都品川区上大崎に移転(3月28日から業務開始)した。また、同社は、学習管理システム「iStudy Enterprise Server」のシステム基盤としてIBMクラウド「SoftLayer」の採用(3月30日)やマイクロソフト「Office365」との連携サービス(3月29日)なども発表している。

■デジタルハリウッド福岡校とブイキューブ：子育てママの在宅ワーク支援で協力

(4月6日)

IT関連及びデジタルコンテンツの人材養成スクールを運営するデジタルハリウッド福岡校 (<http://school.dhw.co.jp/school/fukuoka/>) (福岡県福岡市) と、株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com>) (東京都目黒区) は、在宅ワークを支援する取り組みで協力する。



V-CUBE を活用したママたちの在宅ワークの様子
(ブイキューブ)

デジタルハリウッド福岡校で学んだ子育てママがスムーズに在宅で就業できる環境をサポートしていくことが狙い。ブイキューブの Web 会議サービス「V-CUBE」を提供することで、地元で子育てをしつつ、自宅でクライアント等と打ち合わせをしながら仕事ができる環境を実現する。福岡近郊だけでなく九州各地のクライアントとの打ち合わせのための移動を削減し、子育て中の空き時間を効率的に活用できるようになる。

デジタルハリウッド福岡校では、働く時間や場所に制約がある女性が、その制約の中でキャリアアップを目指しながら働くことができる環境を提供するため、「ママ向け Web グロースハッカー養成講座」を 2015 年 9 月に開校している。子育てママは、実際の Web リニューアル案件も手掛ける半年間の受講を経て、Web デザイナーやグロースハッカー (Web サイトの改善を担う高付加価値な職業) としての独立を目指す。

デジタルハリウッド福岡校とブイキューブは、今後も、両社の強みを活かして、時間や場所の制約がない新しい働き方と地域経済の活性化への貢献を目指す。

■ブイキューブ：熊本地方を震源とする地震における BCP 対策として Web 会議サービスの無償提供を発表

(4月15日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com>) (東京都目黒区) は、熊本で発生した大型地震に伴い、BCP 対策として Web 会議サービス「V-CUBE ミーティング」を無償で提供する。

対象は、九州地区に、本社、支店、営業所がある企業・学校・官公庁、また九州地区に取引先がある企業となっている。

10 拠点接続可能なプランで無償提供を行う。期間は余震ならびに関連する被害が終息し、オフィス・学校への出勤・登校に問題がなくなるまでとしている。

なお、同社の子会社であるパイオニア VC (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都目黒区) も、同様な条件で、ビジュアルコラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」を無償で提供すると発表している。

導入・利用動向-国内

■VTV ジャパン：特許業務法人津国、拠点間・クライアントとのコミュニケーションインフラとしてアバイアテレビ会議を選択

(4月5日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp>) (東京都千代田区) は、特許業務法人津国 (<http://www.tsukuni.gr.jp/>) (東京都千代田区) へ、アバイア社製テレビ会議システム「Avaya SCOPIA XT シリーズ」を販売したと発表。

特許業務法人津国は、特許庁に対する手続き業務だけでなく、訴訟やライセンス契約に関する業務、知的財産に関するコンサルタント業務など幅広い分野をカバーし、さまざまな知財サービスを展開している。

2002年に東京本部に導入したテレビ会議システムの老朽化にともない、東京本部と関西オフィスにAvaya SCOPIA XT シリーズを導入。国内外のクライアントとの打ち合わせや社内業務に活用されている。

Avaya SCOPIA XT シリーズを選定した理由は、相手の表情をきちんと確認できる高画質映像、実際に対面で会話しているような音質の良さという。4拠点まで同時接続できる内蔵多地点接続機能を追加できる点も評価した。また、保守面では、VTV ジャパンが提供する保守サポートを利用することで業務の機会損失を最小限におさえられると判断した。

現在、テレビ会議システムは、同社にとって非常に重要なコミュニケーションインフラとなっている。「映像・音声の品質が向上した」「リアルなコミュニケーションよりも聞きやすい」「多地点接続機能で利用の幅が広がった」などユーザからの声もあがり、あらゆる面で導入効果を実感しているという。

特許業務法人津国事例：

<https://www.vtv.co.jp/casestudy/list/tsukuni.html>

■ NEC：大阪市交通局へクラウド型ビデオ通訳サービスを提供

(4月8日)

日本電気株式会社 (<http://jpn.nec.com/>) (東京都港区) は、大阪市交通局に「クラウド型ビデオ通訳サービス」の提供を開始した。

大阪市交通局は、4月1日より、市営地下鉄御堂筋線梅田駅など全12駅の改札口に配置されたタブレット端末からインターネットを介して、外国人観光客・駅職員・遠方にいる通訳者を、高品質の映像で接続し、

通訳者がリアルタイムで通訳を行うサービスを提供する。

英語・中国語(北京語)・韓国(朝鮮)語・ポルトガル語・スペイン語の5か国語に対応しており、24時間365日、リアルタイムでの利用が可能となっている。

今回提供されているビデオ通訳サービスは、NEC 独自開発の映像・音声データのネットワーク配信技術を活用したビデオ通話システム。音声・映像の遅延なく、高画質で快適なビデオ通話環境を提供することができる。

クラウド型でサービスを利用することで、専用のシステム構築が不要なため、運用コストを大幅に低減するとともに、専任の通訳者の配備も不要となる。既存のタブレット端末に専用のアプリケーションをインストールするだけで、利用を実現している。

NECとしては、今回の実績をもとに、今後もクラウド型ビデオ通訳サービスを交通機関、医療機関、地方公共団体、商業施設、観光施設など幅広い業界に提供していくとしている。

NECの窓口は公共ソリューション事業部。

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■ ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証(前編)

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ:V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html

■「比べて納得！Web 会議乗り換え大作戦セミナー」

日時：4月20日(水) / 21日(木) / 22日(金)

午前の部：10:00～/午後の部：15:00～

会場：VTV ジャパン東京本社・大阪オフィス

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1604vtv/>

■Sler・リセラー必見！売れる WEB 会議の選び方・提案法教えます

日時：広島：4月25日(月) 14:00～16:00

名古屋：4月27日(水) 14:00～16:00

大阪市：4月26日(火) 14:00～16:00

会場：広島：広島オフィスセンター(広島市南区)

名古屋：オリファ会議室(名古屋市中村区)

大阪：アビシオン貸会議室(大阪市天王寺区)

主催：エイネット株式会社

詳細・申込：

<http://www.freshvoice.net/news/2016/04/websier.php>

■VTV ジャパンソリューションセミナー

【誰にも聞けない!? 海外とテレビ会議する「5つのコツ」教えます!】VTV ジャパン海外パートナーとのテレビ会議接続あり! 貴重な海外テレビ会議事情が入手できるかも!

日時: 5月 25日(水)・26日(木)・27日(金) 15:00~

会場: VTV ジャパン 東京本社/大阪オフィス

主催: VTV ジャパン株式会社

詳細・申込: <https://www.vtv.co.jp/seminar/1605vtv/>

■Polycom Day

日時: 東京: 5月 31日(火) 13:30~16:00(受付: 13:00~)

名古屋: 5月 27日(金) 13:30~16:00(受付: 13:00~)

大阪: 5月 24日(火) 13:30~16:00(受付: 13:00~)

会場: 東京: ポリコムジャパン新宿オフィス(東京都新宿区)

名古屋: ミッドランドホール 会議室 A (名古屋市中村区)

大阪: グランフロント大阪 ナレッジキャピタル C04 (大阪
市北区)

主催: ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:

<http://response.polycom.com/01-E-P-JP-PolycomDay-Regform>

国内その他: <http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他(準備中): <http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック(遠隔会議&UCトレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter(CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト(dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年:

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年:

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作: カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年4月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp